


分野	14	地域子育て支援	通番 25
施策	141	子どもの居場所・交流の充実	
5年後の目標		地域ぐるみで子どもを育てる気運が高まっており、地域の大人に見守られて子どもが生き生きと活動している。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	放課後児童クラブ育成事業		会計	款	項	目	357,463,834	文化・スポーツ 振興室
			一般	10	4	4		
事業の概要								
放課後の児童を対象に小学校敷地内で家庭に代わる生活の場を確保し、児童の健全な育成を図るとともに、開所時間の延長などのサービス内容の充実を図り、保護者の仕事と子育ての両立を支援します。放課後児童クラブへの入会数は増加傾向にあるため、児童一人あたりの専用区画を確保できるよう計画的な施設整備を進めるとともにすくすく教室推進事業との連携を図ります。								


平成30年度の取組							
D (取組)	指標	児童一人あたりの専用区画1.65㎡を充たす放課後児童クラブ数				単位	クラブ
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	0(平成26年度)	目標	0	2	5	5	7
		実績	0	4	6		
<ul style="list-style-type: none"> ・公営の放課後児童クラブの長期休業期間中の開設時間を延長し、夏休み期間から8時開設を行うことで利便性が向上しました。 ・長岡第三小放課後児童クラブの施設整備に取り組み、新施設への移転を完了しました。また、施設整備に合わせて保育環境の改善に必要な備品等について対応しました。 ・長岡第九小の民間委託に向けて、委託業者の決定を行い、平成31年4月からの委託開始に向けた委託業者と放課後児童クラブ指導員との引き継ぎ等に取り組みました。 					長岡第三小放課後児童クラブ新施設 		

施策の「5年後の目標」に対する評価				
平成30年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
			—	—
C (評価)	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	<ul style="list-style-type: none"> ・公営の放課後児童クラブについて、長期休暇期間の開設時間を夏休み期間から30分早めて8時開設とし、利便性を向上しました。 ・長岡第三小放課後児童クラブの施設が完成し、基準を満たした新たな施設での保育を開始しました。 ・長岡第九小放課後児童クラブの民間委託については、放課後児童クラブ指導員と委託業者の引き継ぎが完了し、平成31年4月から民間委託を開始しました。民間委託により開設時間を「従来の18時まで」から「18時30分まで」と30分延長し、利便性を向上しました。 	
	課題等	・次の施設整備に向け、関係機関との協議を進める必要があります。		

目標達成に向けての次年度以降の対応	
A (行動)	方向性
	1: 計画通りに進めることが適当 対応策等 ・令和2年度以降に予定している長岡第四小放課後児童クラブの建て替えに向け、関係各課や工事業者との協議を行う予定です。

分野	14	地域子育て支援	通番 26
施策	141	子どもの居場所・交流の充実	
5年後の目標		地域ぐるみで子どもを育てる気運が高まっており、地域の大人に見守られて子どもが生き生きと活動している。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	すくすく教室推進事業		会計	款	項	目	17,254,260	文化・スポーツ 振興室
			一般	10	4	6		
事業の概要								
学校や地域、家庭が一体となって、子どもの安全・安心な居場所を確保し、特別教室や体育館等の学校施設において、地域の活力を利用して、放課後や週末などの子どもの活動拠点を創出し、学習やスポーツ、文化活動などの取り組みを推進します。また、放課後児童クラブ育成事業との連携を図ります。								


平成30年度の取組							
D (取組)	指標	すくすく教室参加児童数				単位	人
	現状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	39,452 (平成26年度)	目標	39,700	40,100	40,400	40,700	41,000
		実績	34,445	33,515	33,995		
	指標	すくすく教室指導員等人数				単位	人
	現状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
6,776 (平成26年度)	目標	6,780	6,785	6,790	6,795	6,800	
	実績	6,270	5,760	6,020			
<ul style="list-style-type: none"> ・校区ごとにコーディネーターを中心とした運営組織を作り、事業を運営しています。 ・「京のまなび教室」特別講師の活用や「環境の都づくり会議」の協力を得るなど、外部講師を活用して講座の充実を図るとともに、地域の人材を活用しながら事業を実施しました。 ・放課後子ども総合プラン（放課後児童クラブとすくすく教室の一体型）を推し進めるため、放課後児童クラブからの参加者数がさらに増えるようPRしました。 					12月に開催した門松づくり 		

施策の「5年後の目標」に対する評価				
平成30年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応員
		すくすく教室に参加する児童数と活動に協力する大人の数	減少していた児童及び指導員の参加者数が前年度から増加傾向となりました。	195
	達成度合	B:目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度)	・門松づくり、しめ縄づくり等、地域からの申し出によりすくすく教室のプログラムが増えるなど、地域力が活かされています。また、地域の方々に学習指導員や安全サポーターとして活躍いただくとともに、子どもたちとの交流の一助になっています。	
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民による運営を継続するため、コーディネーターをはじめとする人材確保が必要です。 ・参加児童数が増加するよう、新しい講座内容を増やしていく必要があります。 			

目標達成に向けての次年度以降の対応	
A (行動)	方向性 1:計画通りに進めることが適当 対応策等 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人材の力を活用した運営が継続できるよう、校区運営委員会の活動を支援します。 ・「京のまなび教室」等の外部講師の情報を校区運営委員会と共有し、新しい内容の講座実施を支援します。 ・放課後児童クラブの運営を民間委託している長五・長七・長九・長十小で、すくすく教室との一体的な取組を推進できるよう、受託法人と校区運営委員会の連携を支援します。 ・放課後子ども総合プラン（放課後児童クラブとすくすく教室の一体型）を推し進めるため、放課後児童クラブからの参加者数がさらに増えることを目指します。

分野	14	地域子育て支援	通番 27
施策	141	子どもの居場所・交流の充実	
5年後の目標		地域ぐるみで子どもを育てる気運が高まっており、地域の大人に見守られて子どもが生き生きと活動している。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	地域で支える中学校教育支援事業		会計	款	項	目	4,495,390	生涯学習課
			一般	10	4	1		
事業の概要								
子どもが自主性や社会性、協調性などを培うため、地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進します。各中学校に地域コーディネーターを配置し、地域住民がボランティアとして、中学校が必要とする支援活動(学習支援、部活動支援、環境整備、登校指導など)を行うとともに、研修交流などを通して地域ボランティアの資質向上等に努めます。								


平成30年度の取組							
D (取組)	指標	地域で支える中学校教育支援事業年間活動延べ日数(4校合計)			単位	日	
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	650(平成26年度)	目標	680	710	1,350	1,350	1,400
		実績	1,358	1,679	1,472		
<ul style="list-style-type: none"> 各中学校に地域コーディネーターを設置し、地域住民等が学習支援ボランティアとして活動しました。 長岡中学校では、英語・数学検定受験のためのチャレンジ教室、特別支援学級補助、部活動支援、図書ボランティア活動を行いました。 長岡第二中学校では、夏休み補充学習、別室登校生徒への学習支援、授業補助、部活動支援、環境整備などを行いました。 長岡第三中学校では、補充学習支援、美術実技補充、授業補助、外国人生徒への日本語学習支援を行いました。 長岡第四中学校では、7校時学習会、テスト前補充学習会、授業補助、部活動支援を行いました。 				チャレンジ教室 			

施策の「5年後の目標」に対する評価					
平成30年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁	
	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> 各中学校内での活動が定着し、中学校、地域コーディネーター、地域ボランティアとの連携が円滑に進んでいます。 前年度と比べ、学習支援の日数が100日増加しました。 	194
	課題等	ボランティアが教えたいと希望している教科と学校やコーディネーターが希望する教科に差があるため、一部の教科でやや人材不足、一部の教科で人材過多となっています。			

目標達成に向けての次年度以降の対応	
A (行動)	対応策等
1: 計画通りに進めることが適当	学校やコーディネーターが必要とする人材を速やかに紹介できるよう、ボランティアの募集を生涯学習課でも引き続き行います。

分野	14	地域子育て支援	通番 28
施策	141	子どもの居場所・交流の充実	
5年後の目標		地域ぐるみで子どもを育てる気運が高まっており、地域の大人に見守られて子どもが生き生きと活動している。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	児童館子どもの居場所づくり事業		会計	款	項	目	4,717,193	北開田児童館
			一般	3	2	5		
事業の概要								
児童館が来館する子どもや保護者にとって快適な居場所となるよう、児童館施設の充実を図るとともに利用者のニーズに沿った運営を行います。 また、子育て世代の不安感、孤独感を解消するため、子育てサロンなど子育て世代を支援する事業を継続的に実施し来館者同士の交流を推進します。								

平成30年度の取組							
D (取組)	指標(～H29年度)	児童館の来館者数				単位	人
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	10,987 (平成26年度)	目標	12,000	12,000			
		実績	16,778	18,017			
	指標(H30年度～)	乳幼児親子の来館者数				単位	人
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	4,264 (平成28年度)	目標			5,500	6,000	6,500
		実績			4,698		
	<ul style="list-style-type: none"> ・不特定の子どもが集団の中での遊びを通し、社会性や協調性を身につけることができる場所を提供しました。 ・児童教育相談員を配置することにより、子どもが学習や学校などの相談が、しやすい環境を提供することにより、学習意欲の向上や習慣づけを行いました。 ・児童館のクラブ活動を年間を通して行うことにより、協調性などを養い、文化祭などで発表しました。 ・乳幼児親子の交流の場としてキッズルームを常時開設し、子育てサロンを年26回開催しました。 ・図書室の常時開放や貸し出しを行い、本に触れる機会を増やし読書活動の場を提供しました。 						
						子育てサロン	
							

施策の「5年後の目標」に対する評価				
平成30年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
		—	—	—
	達成度合	B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%～100%程度)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児親子は昨年度より598人減の4,698人となりました。 ・総来館者数は昨年度より971人減の17,046人となりました。 ・クラブ活動では95人の児童らが年間を通じて練習や発表に取り組み、達成感や自己肯定感を育てることができました。 ・中学生166人、小学生1,695人が学習室で宿題や自主学習に取り組みました。 ・図書室の利用が定着し、図書の貸出件数は年間1,000件となりました。
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児親子の来館者数においては、目標達成数値に到達しませんでした。 ・「子育てサロン」などの乳幼児親子を対象とした事業の内容などを工夫するとともに、児童館の認知度を上げる広報活動を行う必要があります。 			

目標達成に向けての次年度以降の対応					
A (行動)	<table border="1"> <tr> <th>方向性</th> <th>対応策等</th> </tr> <tr> <td>2: 進め方の改善の検討が必要</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児親子対象の事業である「子育てサロン」に新たに講師を招いて、事業内容を充実させます。 ・広報活動として保育所等を中心に各公共施設への事業内容や利用方法などのチラシを配架し、PR活動を行います。 </td> </tr> </table>	方向性	対応策等	2: 進め方の改善の検討が必要	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児親子対象の事業である「子育てサロン」に新たに講師を招いて、事業内容を充実させます。 ・広報活動として保育所等を中心に各公共施設への事業内容や利用方法などのチラシを配架し、PR活動を行います。
方向性	対応策等				
2: 進め方の改善の検討が必要	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児親子対象の事業である「子育てサロン」に新たに講師を招いて、事業内容を充実させます。 ・広報活動として保育所等を中心に各公共施設への事業内容や利用方法などのチラシを配架し、PR活動を行います。 				